

1歳ですよろしく

たくぼしょうま
田窪将真くん
(大間)

平成15年10月7日

父 浩司さん
母 理佐さん



末っ子のしょうま。優しい男の子になあれ！

せきやゆいか
関谷唯伽ちゃん
(昌農内)

平成15年10月1日

父 猛さん
母 由理子さん



いたずら姫、唯伽。樹やみんなど仲良くてね。

みよしこうた
三好航太くん
(中川原)

平成15年10月9日

父 敏正さん
母 由紀さん



元気でたくましくなってるね。

いずみまりん
和泉真凜ちゃん
(恵久美)

平成15年10月24日

父 茂男さん
母 恵美さん



花蓮お姉ちゃんと一緒に元気に成長していこうね。

わたなべ
渡部 夢ちゃん
(徳丸)

平成15年10月18日

父 淳二さん
母 まゆみさん



やさしいお姉ちゃん、大好き。

随想

母の予知能力

大間 石黒 夏生



昭和二十一年十二月二十日の夜に発生した、南海道地震の記憶が甦ってきます。

末の弟がこの年の四月二十六日に生まれて、母と私(小学校一年生)と三人が奥の六畳の間で寝ていました。父は毎月二十日の夜は石手寺へお大師さん(弘法大師空海)の御通夜で泊まります。

この日、母がいつも西向きに寝ていますのに、急に「今夜は東向きに寝ようかね!」と言いました。

父の蔵書が沢山あり、この

部屋の西側の鴨居の上に本箱を取り付けていました。

夜中に地震が来てこの本箱が布団の上に落ちてきたので、本箱の角が畳にめり込んでいました。丁度いつもの弟の枕の位置でした。今夜は反対に寝たので、足下になり怪我はありませんでした。

母は「お父さんがお大師さんに頼んでくれたんやなあ!」と私に話してくれました。

今になって思いますに、お大師さんが救ってくれたんだなあと思います。それともう

一つ考えられるのが、子を思う母親の予知能力だったのかもしれない。

この時、難を逃れた弟も五十八歳になり、二人の子と二人の孫に恵まれ元気になっています。

口癖のように、母は弟に「おまえの命はお大師様に頂いたんやから、大事にせにゃいかんよ!」と言いつつ聞かせていました。

母はこの頃には耳が全然聞こえない状態でした。

私の子どもの頃の不思議な

体験の一つです。



11月に1歳になられるお子さんの写真を募集しています。背景が明るい写真をお持ちのうえ、10月1日(金)~8日(金)の執務時間中に役場3階総務課秘書広報係へ(先着6名まで)。